

金竜だより

令和4年 1月 31日
台東区立金竜小学校
TEL 3 8 7 1 - 9 8 9 3
ホームページ



<https://taito.ed.jp/swas/index.php?id=1310230>

今年度のまとめと来年度に向けて

副校長 田中 路子

まだまだ寒い日は続いていますが、暦の上ではもうすぐ立春です。旧暦ではこの日が一年の始めとされていたため、決まり事や季節の節目はこの日が起点になっています。一年の始まりの日と考えると、気持ちも新たになります。

各学年・学級では、今年度の終わりの学期（3学期）であるとともに、来年度に向けての始まりの学期（0学期）と考える生活を送っています。学校全体としても、「今年度、子供たちができるようになったこと」を考える時期となりました。昨年4月、学校ではこの一年間を思い、目標・計画を立てました。途中、子供たちの実態と合わないところは計画を改善したり、「ここまで伸ばしたい」と思うところは方法を検討したりしてきました。今年度を振り返り、今のうちに改善できるところは取り組み、来年度に活かしていきたいところは続けて取り組んでまいります。

保護者の皆様にも学校評価のアンケートに御協力いただき、ありがとうございました。たくさんの御意見や御感想をいただきましたこと、感謝申し上げます。いただいた御意見は大切に受け止め、今後の子供たちのさらなる成長につながるよう、検討してまいります。学校だけでは取り組むに難しい点もあり、御家庭に御協力いただくこともあると思いますが、どうぞよろしく願いいたします。

さて、子供たちに、「今の学年でできるようになったことは？」と聞いたら、どのような返事をするのでしょうか。現学年の4月。子供たちもこの一年間の自分の姿を思い「こんな姿になりたい」「これができるようになりたい」と、目標を立てスタートしました。保護者の方から御覧になれば、「我が子はこの一年間でこれができるようになった」や「ここが伸びた」とぱっと思いつくことも、意外と子供たちは気付かないようで、「自分ができるようになったことなんてない」「自分によいところなんてない」と思っているところもあるようです。今年度の残り2か月。子供たちができるようになったことやよいところを伝えつつ、さらに高みを目指したいことや続けて頑張りたいことに取り組んでいけるようにしたいと思います。

席書会

国語部担当

毎年、子供たちが自分の字と真剣に向き合う姿に一年の始まりを感じる行事に「席書会」があります。

1、2年生は、硬筆に取り組みました。字形やとめ、はね、はらいに気を付けて丁寧に書きました。どの子もいつも以上に丁寧に書くことを意識して、素晴らしい作品の数々ができ上がりました。

3～6年生は、だるま筆を用いて、各学年の筆の使い方のめあてを意識しながら書きました。今年は学年ごとではなく、学級ごとに行いました。体育室では、どの子も集中して取り組み、日々の学習や冬休みの練習の成果を発揮して、堂々とした作品を仕上げることができました。

かたばみ学級の児童もお手本をよく見て、一生懸命に取り組むことができました。今後、書写の学習を通し、自分の字を大切にすることを育んでいきたいと思ひます。

